

多良木町訪問団のみなさん よろこそ南幌町へ！

6年目となる児童交流事業。今年度も昨年7月に南幌町の児童10名が多良木町を訪問し、民泊など現地の児童と交流を行いました。そして、2月6日から4日間の日程で金子校長（黒肥地小）を団長とした多良木町児童10名の訪問団が本町を訪れ、夏の訪問の恩返しに様々な体験を通して北海道の冬を満喫してもらいました。



1日目（2月6日）

♡民泊家庭にて♡



多良木町訪問団を南幌小学校でお出迎え。半年ぶりの再会に児童たちは自然に笑顔になっていました。



歓迎レセプションでは両町の挨拶、多良木町の紹介等が行われ、終了後はそれぞれの民泊家庭へ向かいました。



- ① 歓迎の言葉
齊藤早咲さん（南幌小）
- ② 訪問の言葉
古川遥都君（久米小）
- ③ 多良木町の紹介
小松海莉さん（多良木小）
竹本拓斗君（黒肥地小）
那須春乃さん（久米小）

2日目 (2月7日)

なんぼろ冬まつりではスノーモービルやバナナボート、ゴムチューブ滑りなどを楽しみました。



北広島クラッセスノーパークでのスキー体験。初めは転んでばかりでも、指導を受けて最後は滑れるまでになりました。



夕食はぼろろで「南幌ママズビュッフェ」をお母さん方が準備。とっても美味しくいただきました。



3日目 (2月8日)

札幌時計台やテレビ塔、さっぽろ雪まつりを見学。大雪像やかわいい雪像に見入っていました。



児童交流では初めて、南幌小学校の全校集会で多良木町訪問団と南幌小学校全児童が交流しました。

昨年1匹も釣れなく、心配していた親水公園でのわかさぎ釣り。今年は20匹以上釣れ、みんな大喜びでした。



皆で部屋に集まり名残惜しそうに遅くまで遊んだり、語ったり、最後の夜を過ごしました。

4日目 (2月9日)

とうとう最後の日。お別れ会が行われました。



お別れの言葉
①大野 俊君 (南幌小)
②田澤由依さん (久米小)



今年も新たな絆が生まれました。そして来年、また新たな絆が生まれることでしょう。